

インターバンクの声（2017年3月10日）

週初から 113 円台中盤から 114 円台前半の狭いレンジ取引が続いていたドル円だったが、ロンドン市場の早朝には久々に 114 円 90 銭台までドル買いが進んだ。もっともニューヨーク勢が参入する頃には再度 114 円台中盤までドルが売り戻されるなど、115 円の壁が厚いことを思い知らされることにもなった。

ロンドン市場で上昇していた米金利がわずかながら下げ始めたことも影響していたが、その後、米金利が上昇に転じ、ドラギ ECB 総裁が記者会見で「ユーロ圏のリスクが目立たなくなってきた」と述べたため、再びドル買いとなって 115 円に迫るも、結局この局面でも越えられなかった。

そしてニューヨーク市場の終盤、今度こそとの想いで昨夜 3 度目の 115 円越えを狙ったドル買いも、一瞬 115 円ちょうどを付けるに留まった。それでも今日の東京市場が五十日(ごとおび)に当たり、仲値前後の実需を見込めば大きくドルが下落するリスクは小さいと判断してか、朝 7 時半過ぎにしっかり 115 円台に乗せてきた。ストップのオーダーが並んでいるとの情報もあるが、まずは 1/27 に付けた 115 円 37 銭がポイントだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。